opusdei.org

オプス・デイ「創立 八十周年」「来日五 十周年」 感謝ミサ

オプス・デイ属人区は、創立 八十周年(10月2日)と来日 五十周年(11月8日)を祝う ため、長崎と大阪で大司教司 式の感謝ミサを捧げた。

2008/10/16

オプス・デイ「創立八十周年」「来 日五十周年」 長崎と大阪で 大司教 司式 感謝ミサ 長崎では、9月27日(土)、浦上カ トリック教会で高見三明大司教司式 により、約六百名が参列。オプス・ デイ日本地域代理の新田神父を含む 4名の司祭も司式に加わり、荘厳に 祝われた。高見大司教は、オプス・ デイ創立者・聖ホセマリアの霊性と 教えに触れ、次のように話した。 「お金のため、生きるためだけに働 くときに問題が起こります。他の人 の善のために働き、人々の役に立つ とき、そこに働く本来の姿があると 思います。|「小中学生のみなさん は、勉強が仕事です。勉強は自分の ためだけでなく、人々の役立つため です。出世して、地位を得て、金儲 けするためなら、考え直したほうが いいでしょう。他の人を生かすため です。| 最後に、教区での仕事に感

大阪では、10月11日(土)、夙川カトリック教会(大阪教区)で池長潤 大司教司式による感謝ミサに、約三

謝のことばを加えてくださった。

百名が参列した。説教の中で池長大 司教は、聖座が1950年に出したオプ ス・デイに関する教令の言葉を引用し つつ次のように話した。「オプス・デ イのメンバーは、いつでもどこで も、キリストの平和と、主における 確かで完成された喜びとを保ち、そ れをすべての善意の人々に快く提供 しています。さらに、その平和と喜 びをすべての人々に分け与えようと 努め、神的な善という素晴らしい恵 みを一人ひとりが受けとめ、味わう ように、ゆっくりと推し進めていま す。| 「どうかオプス・デイの皆さ んが、この精神に従って、これから も教会のために尽くしてくださるよ うにお願いします。|

ミサの最後に、オプス・デイの新田 神父が、司式大司教・司祭方、会衆 に感謝の言葉を述べた。

なお、ローマのオプス・デイ属人区 長エチェバリア司教は、次のコメン トを発表した。「すべての記念日は、未来に目を向ける機会となり、教会のこの小さな部分である聖十字真のとなが、社会のアス・ディ属人区が、社会の聖ホンス・ディ属人区が、社会の聖ホンではおいて、1928年に神が聖ホセリアにおされた使命を実現していまるようにもあるように。「はないできますというにはないできますように。」

オプス・デイ概要

正式名称 聖十字架とオプス・デイ属 人区

属人区長 ハビエル・エチェバリア司 教

創 立 1928年10月2日

信者 59カ国 約87,000人

構成 聖職者1,900人、信徒85,100人

来 日 1958年11月8日センター所在 大阪、長崎、京都、大分

使 命 専門職・日常生活の様々な状況を通して、社会の中で聖性を追求し、使徒職を実行する

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/opusudei-chuang-li-ba-shi-zhou-nian-lai-ri-wu-shi-zhou-nian-gan-xie-misa/(2025/12/15)